

平成24年度卒業論文

麻雀におけるプロと素人の違い

所属ゼミ 村澤ゼミ

学籍番号 1090401093

氏名 中 喜重

大阪府立大学経済学部

要約

麻雀は運の要素が強いゲームであるがその中でもプロと呼ばれる人たちが存在する。本稿では、プロと素人の打ち方の違いをデータ分析によって考察する。

本稿で用いられるデータは「日本プロ麻雀協会」が提供しているものである。日本プロ麻雀協会とは、麻雀の普及と発展に関する事業を行い、人類文化の向上に寄与することを目的とする社団法人団体である。当協会では雀王戦、雀竜戦、オープン戦などさまざまなタイトル戦がある。ルール・役は一般的に広く使われているものを採用する。ここでは本稿で用いる雀王戦と雀竜位戦について述べる。

雀王戦はリーグ形式のタイトル戦で、C3 より始まり、C2・C1・B2・B1 と続き、A が最高リーグとなる。A リーグ全 10 節終了時、上位 3 人が決定戦に進出。前年度雀王を交え決定戦が行われる。勝ち負けによってリーグの昇降がある。

雀竜位戦はランキング制のタイトル戦である。C 級予選から始まり、C 級・B 級・A 級と勝ち進み、A 級終了時、上位 3 名が決定戦に進出。前年度雀竜位を交え決定戦が行われる。

順位の決め方であるが、当協会では、半荘戦を繰り返し行い、1 回戦ごとのポイントの合計で決める。ポイントの付け方は 25,000 点の 30,000 点返しで、1,000 点を 1P とする。オース終了時点で 30,000 点からの得失点でポイントをつける。さらに、1 位+50P、2 位+10P、3 位△10P、4 位△30P をそれぞれ加算する。このポイントの合計で順位をつけるのである。